

鏡川流域パートナーシップだより No.69 R5.8.9



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

インターンシップ生と一緒に自然と人の関わりを広げています！

新エネルギー・環境政策課にインターンシップ生が来て来ています！8月から9月にかけて、6名の学生さんが新エネルギー・環境政策課を訪れ、5日程度のインターンシップ期間を通じて、環境に関する取組を学びます。

今後、インターンシップ生の皆さんには、**期間中に経験したことや学んだことを「鏡川流域パートナーシップだより」の記事で紹介してもらう**予定です！次回以降、インターンシップ生の皆さんが作成した記事を発行しますので、ぜひご覧になってください(^ ^)

まちのコイン「ぼっちり」では、インターンシップ生限定の体験チケットを発行しています。研修期間を通じて、インターンシップ生が主体的に行動できるように、今回の研修内容を「分かりやすいミッション」にしました。まずは自分自身が楽しく実践してみることで、より多くの方に使っていただくための手立てを考えることができます。そして、研修後も、鏡川流域関係人口の担い手として、関わり続けてもらうためのツールにもなります！



現在来てくれている1人目のインターンシップ生・坂本さんは、高知大学で専攻している生物学の知識を活かして、高知市の生物多様性調査の取組などに積極的に参加してくれています！



坂本さんは、スマホアプリ「Biome」をさっそくインストールし、市役所周辺でいきもの探しに挑戦していました！業務時間外に川を訪れ、いきものを探して「Biome」で判定したり、お昼休みに自主的に市役所周辺で生き物の写真を撮影したりと、**生物への熱意があふれる積極的な姿勢**で高知市の取組に参加してくれています！こうした実践を踏まえて、現在、鏡川流域パートナーシップだよりを執筆中。記事の完成が楽しみです！

鏡川流域のお祭りを「ぼっちり」で応援！

	
	

8月5日(土)、鏡川上流域・土佐山地域にて、「土佐山夏祭り」が開催されました！地域の青年団が始めたこの夏祭りは、今年で46回目。近年はコロナ禍で休止していましたが、4年ぶりに復活！当日は250発の花火や盆踊りなどで盛り上がりました(^ ^)

まちのコイン「ぼっちり」では、夏祭り開催のお手伝い募集や来場者へのぼっちりプレゼントなど、夏祭りに関わる人のつながりを可視化しました！このように、鏡川流域の伝統行事や夏祭りをより盛り上げるため、「ぼっちり」をぜひご利用ください！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながり、山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android